

脂肪乳剤：正しく知って安全に投与しよう！

NST では昨年12月、脂肪乳剤の側管投与の紹介を行い、病棟看護師を対象としたアンケートを実施(回答数179人)しました。

1. 脂肪乳剤は病棟でどのように投与されているのか？

脂肪乳剤をメインとは別のルートから投与している

- ・末梢静脈栄養(PPN) 70.4%
- ・中心静脈栄養(TPN) 35.8%



2. 病棟看護師の脂肪乳剤についてのイメージは？ (複数回答)

- ・ルートが詰まりそうな気がする 60.9%
- ・感染の原因になりそうな気がする 39.1%
- ・単独ルートでの投与が煩雑 35.8%

適正な投与方法と感染対策を理解して解決しよう！

脂肪乳剤の適正な投与方法と感染対策

脂肪乳剤とルート閉塞

- ➡ ルート内に脂肪乳剤が残存しないようしっかりフラッシュ！
- ➡ 側管投与の可否は必ず確認する！

ルート閉塞の原因は粒子の粗大化です。脂肪乳剤と薬剤の配合変化による粗大化については十分な報告はありませんが、脂肪乳剤とヘパリンはカルシウムイオンの存在下で凝集することはよく指摘されています。側管投与の可否を必ず確認してから実施しましょう！

脂肪乳剤と感染

- ➡ 体重÷2 (mL/hr) 以下の速度でゆっくり投与する！
- ➡ 脂肪乳剤の取り扱いの際は感染対策を徹底する！

投与速度が速いと代謝し切れなかった人工脂肪粒子による免疫機能抑制が報告されています。また、脂肪乳剤は栄養が豊富で他の輸液より細菌が増殖しやすい製剤です。使用の際には感染対策をきちんと行いましょう。



脂肪乳剤の側管投与のメリットと注意点についてはNST ニュース2013年12月号にまとめてあります。病棟にラミネートした資料もあるのでぜひご確認下さい！

すべての栄養点滴において脂肪乳剤の側管投与ができるわけではありませんが、側管投与可能な場合においては側管投与することで、投与時の煩雑さを軽減できると考えられます。今後もNSTでは脂肪乳剤の側管投与が皆さんに安全に、広く実施してもらえるよう活動していきたいと考えています！

第10回 NST研修会報告 2014.3.5 (水) 17:30~18:30

NST専任スタッフ・NST協力スタッフが増えました!



NST専任スタッフ：40時間の研修修了者 【修了証およびワニバッチ授与】11名

看護師：大暮訓子、今川房美、
小野仁美、奥村愛子
管理栄養士：松岡舞華、富田さおり
理学療法士：金森篤臣
作業療法士：稲川康子
言語聴覚士：河村英美
歯科衛生士：井川直子、沖沙也加

NST協力スタッフ：10回以上の研修参加者 【ワニバッチ授与】3名

薬剤師：片桐由里絵
検査技師：清水莉恵
管理栄養士：広瀬真由美



H25年度の研修修了者全員に当院NSTチェアマンの林慎先生から
修了証・ワニバッチが交付されました!

40時間の研修を修了した看護師・管理栄養士・薬剤師は、NST加算に必要な専任スタッフとして、厚生労働省に届出しました。

管理栄養士・看護師・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士で、5年以上経験を有し、40時間の研修を修了し、その他の受験要件を満たしている場合は、日本静脈経腸栄養学会認定のNST専門療法士の受験が可能です。

* NST委員以外で40時間の研修を修了したい!と思われる方は栄養科までお問い合わせ下さい。

第13回 岐阜南NST研究会報告 2014.3.27 (木) 18:30~20:00 3階講堂

特別講演 「がんと高齢者の終末期栄養管理」

大阪府済生会中津病院 肝胆臓外科部長
近畿大学医学部 外科客員准教授

土師誠二先生



今回のNST研究会も平日夜の開催にもかかわらず、院内・院外含め多くの方にご参加いただき
活気溢れる会となりました!

参加者71名(院内49名、院外22名)



☆土師先生とNSTメンバーで記念撮影☆